2022.4.26.Tue 19:00-20:40

熊本城ホール3F 大会議室A1 / Online











Brain

Disease

Bridging

Seminar



当日はご参加の確認のため、ご施設名、ご芳名の記帳をお願い 申し上げます。

なお、ご記帳いただきました個人情報は、本講演会の出席者の 確認及び、次回のご案内のために主催関係者のみで使用し、 その他第三者に提供する事はありません。また、適切に管理し、 使用目的達成後に速やかに廃棄いたします。

お申し込み方法

①Web:https://forms.office.com/r/Mqgwj9mL9t 上記URLにアクセスいただき登録フォームからお申し込みください

②Mail:Shiotsuka.Yuji@Otsuka.jp

必要事項[貴施設名/職種/氏名/参加方法]をご明記のうえ、 メールをお送りください

申込締切:4月25日(月)

QRコードからも お申し込みいただけます

※QRコードは(株)デンソーウェーブの 登録商標です

主催 | 大塚製薬株式会社 後援 | 済生会熊本病院

Program

19:00 ----- 開会の辞

上杉 英之 先生 済生会熊本病院 医療連携部長

脳卒中症候学

高次脳機能障害を見落とさないために

座長 米原 敏郎 先生 済生会熊本病院 脳卒中センター 脳神経内科部長 演者 稲富 雄一郎 先生 済生会熊本病院 脳卒中センター 脳神経内科副部長

19:35 ─── 講演Ⅱ

片頭痛診療の発展と診療ネットワーク 一抗CGRP 抗体時代の新たな展開 —

座長 園田 寛 先生 そのだ脳神経外科 消化器内科 院長 演者 橋本 洋一郎 先生 済生会熊本病院 脳卒中センター 特別顧問

20:35 ----- 閉会の辞

中尾 浩一 先生 洛生会熊本病院 院長

〒860-0804 熊本県熊本市中央区辛島町3-20 NBF熊本ビル9F 大塚製薬株式会社 熊本支店医薬一課 tel 080-6845-3000

vol. 69 2022.April

つ

が る

か な

医療連携を

め ざ

て。

済生会熊本病院 連携広報誌

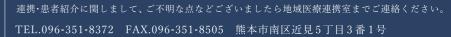
saikuru

CLIEVIC

カテーテル・低侵襲血管内治療センター

04.01 始動。











カテーテル・低侵襲血管内治療 センター(CLIEVTC)創立

当院は低侵襲治療を代表するカテーテル治療をさらに 推進すべく、4月1日付でカテーテル・低侵襲血管内治療 センター(CLIEVTC)を創立いたしました。

当院では2013年4月、熊本県で初めて、ハイブリッド 手術室を稼働いたしました。手術台と心・脳血管X線 撮影装置を組み合わせた治療室で、手術室と同等の 空気清浄度の環境下で、カテーテルによる血管内治療 を行っています。この組み合わせにより最新の医療技術 への対応が可能です。

全身の血管内治療が行える体制

当センターは脳から下肢まで"全身"の血管内治療を実施 できる体制となっています。

関連する複数の診療科の専門医が在籍し、組織横断的 に知識や技術を共有することで、これまで以上に質の 高い治療の提供を目指しています。

カテーテル・低侵襲血管内治療センターの英語表記 Catheter Less Invasive Endovascular Treatment Center O 頭文字をとって、略称はCLIEvTC(クリーク)です。

CLIEVTC

済生会熊本病院の主な治療対象

領域	診療内容
脳血管	脳動脈瘤に対するコイル塞栓術 脳梗塞に対する血栓回収術 内頚動脈狭窄症に対する頚動脈ステント留置術
大動脈	大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術(TEVAR·EVAR)
肺動脈	慢性肺血栓塞栓性肺高血圧症に対するバルーン肺動脈形成術(BPA)
末梢血管	透析の内シャントに対するPTA
下肢動脈	下肢の動脈閉塞に対する経皮的下肢動脈形成術(EVT)
腹部血管	腹部血管疾患に対する血管内治療(腹腔内動脈に対する塞栓術、肝血管内治療など)
その他	緊急止血



CLIEVTC始動!

坂本 知浩 | カテーテル・低侵襲血管内治療センター長

1964年、米国オレゴン州で世界で初めて足の動脈を拡げる治療が カテーテルを使って行われました。現在では主にEVT(endovascular treatment)と呼ばれているこの治療は、以後、色んな疾患に応用され 当院でも複数の診療科が治療を行っています。

この度、各科の治療のノウハウを共有し、患者さんにより優しい治療を 提供すべく、新しくカテーテル・低侵襲血管内治療センター(Catheter Less Invasive EVT Center)を創設しました。

クリーク(clique;仲間)と呼んでください。どうぞ宜しくお願いいたします。



心臓血管外科 兼 CLIEVTC 着任のご挨拶

池田 理 | カテーテル・低侵襲血管内治療センター 特別顧問

4月より心臓血管外科 兼 カテーテル・低侵襲血管内治療センター (CLIEVTC)で勤務しています。これまでの血管内治療の経験はHCCに 対するTACE、大動脈SG、血管奇形、腹部内臓動脈瘤、門亢庄に伴う 血管形成・塞栓など多岐に渡ります。

血管内治療のトレンドは、大動脈瘤が解剖学的に容易な症例が手術から SGへ、TACEは薬剤の開発によりTACEから内科的治療に移り変わり、 血管内治療も難易度の高い症例が多くなっています。

難易度の高い症例は、チームで多くの医師が参加して行うことが重要と 思っています。カテーテル・低侵襲血管内治療センターが血管内治療を 行う医師の研鑽の場になるように頑張りたいと思います。

医師のご紹介



田口 英詞

脳神経内科



長尾 洋一郎



豊福 尚旦

救急科



川野 雄一朗



出田 一郎

消化器内科



工藤 康一



佐々 利明





放射線科



早田 学



加治 正知

重松 良典



天達 俊博

安田 剛